

徒然草

## アフリカで日本の存在感を取り戻そう！

萩原孝一  
元工業開発官  
国際連合工業開発機構  
東京投資・技術移転促進事務所

現在、地球上には約30カ国の先進国と、160カ国ほどの発展途上国があり、その経済格差は甚だしく大きなものとなっています。日本は先の大戦で国土の殆どが焦土と化しましたが、驚異的な回復力を発揮し世界でも有数の豊かな国となりました。その一方、地球上には未だに、4人に1人が一日日本円にして120円の生活を強いられています。

今は多くの課題を抱えて貧困に苦しむ発展途上国ですが、「全人類の将来」という地球規模の目で見ると、開発が進んでいないこれらの国々こそが、多くの潜在力に満ちた可能性の宝庫であると言えます。例えばアフリカです。日本ではアフリカといえば、貧困、難民、飢餓、天災、病疫、内戦、賄賂、悪い治安、経済破綻、政治の不安定、などなど負のイメージが支配的です。一方、携帯電話に不可欠なレアメタルの殆どがアフリカ産であることなどは余り知られていません。アフリカ産の一次産品が沢山日本には輸入されているのです。意外なほどにアフリカと日本は密接な関係があるのです。残念ながら、日本ではこの国の将来のため、果たしてアフリカが必要か必要でないかということに関して議論が尽くされたためしがありません。西欧の列強がこぞってアフリカへのODA合戦を展開しているので、仕方なく巨額を投じて「援助」のお付き合いをしているにすぎません。しかも殆どの場合、現地国からそれ程有難がられてはいません。その証拠に、日本が国連の常任理事国入りを希望表明した時も、アフリカ53カ国は一斉にそっぽを向きました。これは由々しきことです。

中国はその点大変に強かです。中国は経済発展に関しては、現在、完全に1人勝ちの様相を呈しています。その間に、国内では「食」の近代化・西洋化が進み、現在では、食料自給率がかつかつ100%を誇っていますが、数年以内に巨大な食糧輸入国に転じるのは火を見るよりも明らかです。10億以上の胃袋を満たすために将来どこから食料を調達できるのか？中国は真剣に考えました。そして結論を出したのです。中国の安定した未来のためにアフリカが必要であることを。

この10年ほどの中国の対アフリカ攻勢には目を見張るものがあります。投資、貿易、技術移転、人材交流、開発援助など。中国にはアフリカを最大限利用して莫大な利益をもたらすという国是があります。多くの日本人はこれを下品と捉えています。果たしてそうでしょうか。中国人はアフリカをビジネスチャンスのある大陸と捉えています。一方、我

が日本はアフリカを長年「重荷」として扱ってきました。ODA を通じて「援助」のお付き合いという形でお茶を濁してきました。この中国と日本のエネルギーの差が現在のアフリカにおいて決定的な違いを生んでしまったのです。

今やアフリカは何処へ行っても中国人が支配しています。その数に圧倒されます。ある国で道路建設などの大事業が発生すると、中国は地方の貧しい一村の男子全員をアフリカに送り込み出稼ぎ労働者として働かせています。その中に必ず調理人を数人入れ、国に到着すると、最初にかまどを設置し大集団の胃袋の安定を図ります。しばらくは粗末な公民館のような場所で雑魚寝生活が続きますが、それでも故郷の劣悪なる生活環境に比べれば「天国」に近く、労働者は嬉々として仕事に勤しみます。そこで得た労賃を国許に送ればかなりの仕送りとなり、残してきた家族の生活が潤います。中国労働者の間にほんの一握りの地元アフリカ人が一緒に働いています。中国は必死ですが、アフリカ域内の利益にまで今のところ考えが及んでいないようです。多くのアフリカ人たちは植民地時代の亡霊を思い出し、白い顔をした支配者が黄色い顔になっただけだと警戒しています。

中国人は色々な意味で日本人より遅しくて、しばらくするとアフリカに骨を埋める覚悟をする人が出てきます。帰趨本能の強い日本人はこうはいかないようです。精々数年でその殆んどが日本に引き上げてきます。そうこうしている内に、アフリカ域内では既にアフリカ生まれの中国人が数多く輩出されています。こうなると完全に中国の「文化変容」が起き、日本には全く出る幕がなくなってしまう。このままいくと、日本は遠からずアフリカで産出される食料や鉱物資源などは、すべて中国経由で輸入しなくてはならない時代が来てしまうのではないのでしょうか。

実際、前回のアフリカ会議（TICAD IV）の最終総括演説の中でウガンダ大統領ムセベニ氏は声高らかに以下のように述べています。『正直に言って、我がアフリカ大陸は日本のODAにこれ以上期待していません。ODAはもう結構です。この 20 年間ほど我が大陸は日本からの投資をお願いし続けて参りましたが、残念ながら日本企業は全く動いていただける気配すらありませんでした。いいでしょう。これからアフリカはこぞって中国のフォロワーとなります。従って、近い将来、アフリカ大陸で産出される一次産品はすべて中国を通して買っていただくようになります。それでよろしいですね。』正に恫喝です。

日本は、真剣にこの国の美しい未来のためにアフリカが必要か否か見極める必要があります。結論はハッキリしているのです。日本はアフリカが絶対に必要です。これ以上日本がアフリカを蔑ろにすればこの国に美しい未来はやって来ません。これだけは断言できます。この国の浮沈をかけて、中国式ではない、アフリカ人、日本人ともにハッピーになる共存・共栄関係を構築し実行することが肝要です。国内問題だけにかまけているととんでもないことになります。